

中高教員 PC のウイルス感染に関する報告とお詫び

2/26 (月)、中高教員の PC がウイルスに感染したことが確認されました。現在、中高だけでなく、学園情報セキュリティ委員会とも連携して調査や対応を行っておりますが、まだ感染した PC の特定には至っておらず、残念ながら、個人情報漏洩の恐れが完全には否定できない状態にあります。

PC の利用や個人情報管理には十分注意していたつもりでしたが、このような状態になってしまいましたことを深くお詫び申し上げます。

学校としては、この事態を大変深刻に受け止め、学園の情報セキュリティ委員会および関係各所にも報告し、現在、学園危機管理体制の下で対応を行っておりますが、今後こうしたことが二度と起こらないよう、学園全体で、組織的対策・技術的対策を講じ、再発防止に努めてまいりたいと存じます。

【発覚の経緯および概要】

2/26 (月)、中高職員が中高ネットワークの挙動やメール配信の異常について大学の高等教育開発・支援センターおよび学園情報セキュリティ委員会に報告しました。同センターによる調査の結果、2/23 (金) 21 時から 8 時間ほど、学外の特定期間サイトへ大量アクセスしたことが判明したため、すぐに同一ネットワーク内の全 PC を抜線、ウイルススキャンを実施しました。その後、異常通信は確認されておらず、また、個人情報の転載や流出の事実なども確認されておりませんが、3/5 (月) 現在、感染した PC の特定にはまだ至っておりません。

【発生原因】

bot ウイルスであろうと報告を受けています。感染経路は、不審メールの開封もしくは不正ソフトが組み込まれた Web サイトの閲覧であると推測されます。

【今後の再発防止策など】

組織的対策として、不審メールは開封しない、怪しいサイトは閲覧しない、アンチウイルスソフトは常に最新のものに更新する、などを再度徹底させるとともに、技術的対策として、異常通信を自動検知するシステムの導入を検討する予定です。

【問い合わせ】

この件に関するお問い合わせなどは、成蹊学園企画室広報グループまでお願いいたします。

成蹊学園企画室広報グループ (Tel) 0422-37-3517